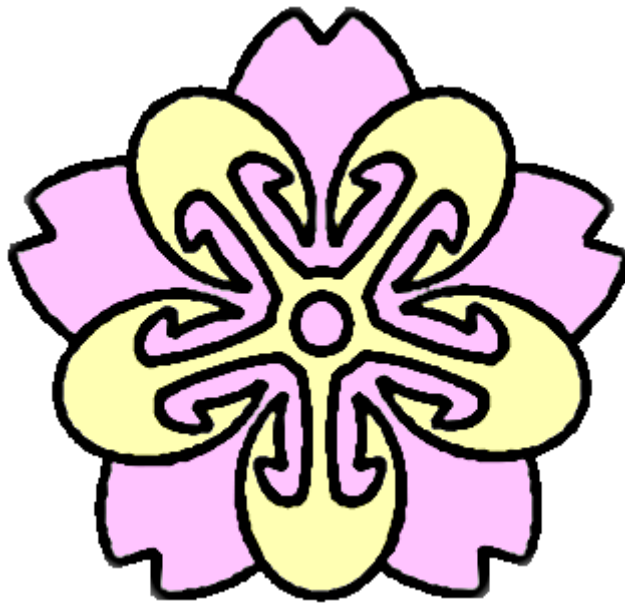


令和5年度

横須賀水交会定期総会資料



令和5年6月1日(木)

横須賀水交会

令和4年度活動報告

自：令和 4年4月 1日

至：令和 5年3月31日

令和4年度の本会活動は、新型コロナウイルス感染症対策（以後、「コロナ禍」という。）による計画変更のほか、年度活動計画に従い以下のとおり推移した。

第1 会の構成

- 1 会員 令和 4年4月 1日 861名（うち法人3社）
令和 5年3月31日 845名（うち法人3社）
（新入会員44名（うち法人0社）、支部間移動0名減、物故会員16名、退会者44名）
- 2 役員 令和 4年6月2日 顧問7名 幹事60名 監査幹事2名

第2 活 動

1 海洋安全保障思想の普及

(1) 横須賀夏季防衛講座

8月20日、横須賀地区防衛諸団体共催（主幹事：当会）により記念艦「三笠」講堂において、現役自衛官を含む来賓及び各団体会員約170名が参加し、河野克俊前統合幕僚長による「日本の安全保障と課題」と題した講演を実施した。

なお、主にコロナ禍に伴う支援体制不可のため、懇親会は取り止めた。

(2) 新聞発行等

4月、11月の2回「横須賀水交会新聞」を発行し、折々の話題や活動状況等を会員に伝達するとともに、本部発行の「水交」（支部だより）に記事を投稿した。

(3) 防衛関係諸団体との交流

横須賀市等地方自治体及び防衛関係諸団体が主催する多くの関連行事がコロナ禍のため中止されたものの、連絡を絶やさずに防衛関係諸団体との連携維持を図った。

(4) 横須賀水交会防衛講座

次年度の事業化を見据え、令和5年2月22日、松下泰士元自衛艦隊司令官による講演等を試行した。

2 海上自衛隊等への協力支援

(1) 練習艦隊の激励

4月1日横須賀寄港に際し実施された行事に会長等が参加した。

また、4月24日出国行事に会長等が参加し部隊を見送り、また、8月22日帰国行事でも部隊を出迎えた。

なお、依然としてコロナ禍により、壮行会等は実施されず、歓迎夕食会等は実施しなかった。

(2) 海外派遣部隊の激励

6月13日インド・太平洋派遣部隊（いずも、たかなみ）の出国行事に会長が参加し、部隊を見送った。また、10月5日インド・太平洋派遣部隊（いずも、たかなみ）の帰国行事に会長が参加し、出迎えた。なお、11月11日「しらせ」出国行事はコロナ禍のために参加者が制限され、会長等への招待はなかった。

(3) 横須賀教育隊入隊式・修業式

横須賀教育隊で実施された新入隊員等の入隊式・修業式に、コロナ禍のため部内のみで実施された機会を除き、会長等が計4回参列し隊員を激励した。

(4) 横須賀教育隊練習員等成績優秀者の激励

横須賀教育隊の修業式において、成績優秀者（計8名）に対し会長から賞状及び記念品を贈呈した。

(5) 体育競技等の支援・激励

コロナ禍のため、該当する競技等がなかった。

(6) 自衛艦旗授与・返納行事等

4月6日潜水艦「たいげい」及び5月9日護衛艦「もがみ」初度入港に会長等が参加し、出迎えた。また、令和5年3月9日掃海艇「はつしま」転籍、壮行行事に会長が参加し、部隊を見送った。

(7) 部隊記念行事

4月26日海自創設70周年記念式典がコロナ禍のため、参加者限定で横須賀芸術劇場にて開催され、会長等が参加しました。

11月1日自衛隊記念日行事は、コロナ禍のため、部内のみで実施されたため、会長等の参加はなかった。

(8) 部隊研修

10月に国際観艦式に伴う体験航海に対し、有志会員等に対する研修を企画し海自広報を支援したほか、該当する支援はなかった。

(9) 募集業務に対する支援

コロナ禍のため、活動が制約された。

(10) 退職隊員の再就職への情報提供

横須賀地方総監部援護業務課との連携維持を図った。

(11) 防衛大学校留学生の激励

コロナ禍のため、取り止められた。

(12) 災害派遣部隊の激励

該当する災害派遣はなかった。

(13) 隊員留守家族支援

ファミリーサポートセンターの活動は、新型コロナウイルス感染症が終息するまで休止することとされた。

(14) 地方隊実施行事の支援

11月1日横須賀地方隊記念日行事が実施されたが、コロナ禍のため、部内のみで実施された。

令和5年3月25日横須賀地方隊観桜会では、共催により受付時の会計業務を実施することで地方隊実施行事を支援した。

3 慰霊顕彰等

(1) 「浜空鎮魂の碑」慰霊祭

- 4月3日横浜富岡総合公園で実施され、一部の会員が参列した。
- (2) 馬門山海軍墓地墓前祭
5月実施の計画であったが、コロナ禍のため、中止された。
 - (3) 「海軍の碑」記念行事
5月27日実施予定であったが、雨天のため中止した。
 - (4) 英霊にこたえる会
8月15日全国戦歿者慰霊大祭が縮小し開催されたため、会長等の参加はなかった。
 - (5) 横須賀地区殉職隊員追悼式
10月22日横須賀地方総監部で執行された横須賀地区殉職隊員追悼式はコロナ禍のため、部内のみで実施されたため会長等の参加はなかった。
 - (6) 靖國神社等月例参拝
6月及び2月の靖國神社等月例参拝については、コロナ禍のため取り止めた。

4 地域社会活動への寄与

- (1) 日本海海戦記念行事
5月27日記念艦「三笠」において実施された日本海海戦117周年記念式典に会長等が参列した。
- (2) 洋上懇談会
コロナ禍のため、中止された。
- (3) 賀詞交歓会
1月14日横須賀商工会議所において7団体共催により実施された防衛協力団体合同賀詞交歓会（主幹事：隊友会横須賀支部）に会長等が参加し、新春の賀詞を交歓するとともに、部隊指揮官、前任伍長等の自衛隊参加者を激励した。
- (4) 地方自治体主催行事への参加
11月6日横須賀市・商工会議所主催の国際観艦式レセプションがホテルメルキュールで開催され、会長等が参加した。
また、令和5年1月4日横須賀アリーナにおいて実施された横須賀市、横須賀市議会及び横須賀商工会議所合同の賀詞交歓会には会長が参加した。
- (5) 諸団体との交流
令和5年1月13日かながわ労働プラザにおいて実施された神奈川県隊友会、神奈川県家族会等共催の賀詞交歓会に会長が参加した。

5 会勢拡充及び広報活動

- (1) 水交会啓蒙活動及び会員の獲得
海上自衛隊OB及びOB以外の有志に対し、機会を捉えて水交会に対する理解と認識を深めるための説明を実施し新会員44名（うち有志会員31名）の入会を得た。
- (2) 中級管理講習及び教育隊説明会
7月8日及び5年2月22日、第2術科学校での中級管理講習において、水交会の目的、現状、活動状況等について紹介した。
- (3) ホームページの整備
タイムリーな更新と内容充実に努めており、横須賀水交会の紹介とともにその活動状況等を部内外に広報し、会員相互の意思疎通にも大きな役割を果たしている。
- (4) 水交誌等への投稿

機会を捉えて横須賀水交会の活動状況等について投稿した。また、SNSへの投稿も積極的に行った。

6 会員相互の親睦・啓発

(1) ゴルフ大会

6月は、コロナ禍のため中止し、11月には、3年ぶりに南総ヒルズCCにて開催したが、コロナ禍により参加者13名と低調であった。

(2) 同好会活動

ア 卓球同好会

毎月第1、第3土曜日、横須賀市北部体育館での活動を再開した。

イ カード同好会

現会員数は15名であり、毎月第2、第4土曜日を標準として、横須賀総合福祉会館等で活動し、毎回概ね2組でプレイした。

(3) レクリエーション活動

コロナ禍のため取り止めた。

(4) 退職隊員再々就職の情報提供等支援

退職隊員の再々就職について、隊員出身者の採用に熱心な企業の協力を得て希望者に情報を提供した。

(5) 有志会員の部隊研修

10月30日約200名が参加して体験航海（試験艦「あすか」による金沢八景沖まで航行）を実施するとともに「よこすか平安閣」において懇親会を開催し、会員相互の親交を深めた。

7 管理業務等

(1) 定期総会

6月2日、「よこすか平安閣」で開催し、令和3年度活動報告、令和4年度役員を選任及び活動計画について了承を得た。総会終了後、横須賀地方総監の講演に引き続き懇親会を行った。

(2) 幹事会

第1／四半期を除く各四半期（計3回）に開催、各四半期の事業実績・事業計画等について審議し適正な会務運営を図った。

(3) 常務幹事会

各行事の開催予定等も考慮して計4回招集、会務運営の円滑化に努めた。

(4) 支部長会議

6月24日水交会本部において開催された支部長会議に会長が出席した。

(5) 事務局運営

諸機関調整、会計処理等の他、会員の叙勲者に対して祝電を、また物故者に対しては弔慰金を贈るとともに遺族の意向に従って自衛艦旗の貸し出しを行った。

第3 令和4年度収支決算報告

別表第1のとおり。

令和4年度活動実績

注：取消線での見え消しは、コロナ禍のために未実施、中止、不参加等

1 海洋安全保障思想の普及

| 期 日 | 事 業 等 | 場 所 |
|--------|---------------|-----------|
| 4月、11月 | 新聞発行 | |
| | 隊友会横須賀支部総会 | |
| | 横須賀防衛協会総会 | |
| 6.24 | 支部長会議 | 水交会本部 |
| | 横須賀曹友会総会 | |
| 8.20 | 横須賀夏季防衛講座 | 記念艦「三笠」講堂 |
| 10.7 | 横須賀防衛諸団体長会議 | 横須賀商工会議所 |
| 12.8 | JANAF A 定例懇親会 | よこすか平安閣 |
| 5.2.22 | 横須賀水交会防衛講座 | ヴェルク横須賀 |

2 海上自衛隊等への協力支援

| 期 日 | 事 業 等 | 場 所 |
|------------------|--------------------------|----------|
| 通 年 | 横須賀教育隊修業式(計4回) | 横須賀教育隊 |
| 通 年 | 横須賀教育隊成績優秀者の激励(計8名) | 横須賀教育隊 |
| 通 年 | 退職隊員の再就職への情報提供 | |
| 通年 | ファミリーサポート家族交流会 | 横須賀地方総監部 |
| 4月 | 練習艦隊の激励 | 指揮官等激励会 |
| 4.6 | 潜水艦「たいげい」初度入港 | 吉倉岸壁 |
| 4.26 | 海自創設70周年記念式典 | 横須賀芸術劇場 |
| 5.9 | 護衛艦「もがみ」初度入港 | 吉倉岸壁 |
| 6.13 | インド太平洋派遣部隊(いずも、たかなみ)出国行事 | 逸見岸壁 |
| | 防衛大学校留学生と横須賀市民の集い | 横須賀市内 |
| 8.22 | 練習艦隊帰国行事 | 逸見岸壁 |
| 11.1 | 自衛隊記念日行事 | 横須賀地方総監部 |
| 11.11 | 「しらせ」出国行事(不招待) | 青海ふ頭 |
| 10.5 | インド太平洋派遣部隊(いずも、たかなみ)帰国行事 | 逸見岸壁 |
| 5.3.9 | 掃海艇「はつしま」転籍・壮行行事 | 吉倉岸壁 |
| 5.3.25 | 横須賀地方隊観桜会 | 厚生センター |

3 慰霊顕彰等

| 期 日 | 事 業 等 | 場 所 |
|-------|---------------------|-----------------------|
| 4. 3 | 浜空鎮魂の碑慰霊祭 | 富岡総合公園 |
| 5 月 | 馬門山海軍墓地墓前祭 | 馬門山海軍墓地 |
| 5. 27 | 「海軍の碑」記念行事 | ガエルニー公園 |
| 6月、2月 | 靖國神社等参拝 | 靖國神社、千鳥ヶ淵墓苑、自衛隊殉職者慰霊碑 |
| 8.15 | 全国戦歿者慰霊大祭（英霊にこたえる会） | 靖國神社 |
| 10.22 | 横須賀地区殉職隊員追悼式 | 横須賀地方総監部 |

4 地域社会活動への寄与

| 期 日 | 事 業 等 | 場 所 |
|-------|------------------|-----------|
| 通 年 | 諸団体との交流 | 適宜 |
| 5.27 | 日本海海戦 117 周年記念式典 | 記念艦「三笠」 |
| 11. 6 | 国際観艦式レセプション | ホテルメルキュール |
| 1. 4 | 横須賀市合同賀詞交歓会 | 横須賀アリーナ |
| 1.13 | 神奈川県防衛諸団体合同賀詞交歓会 | かながわ労働プラザ |
| 1.14 | 横須賀防衛団体賀詞交歓会 | 横須賀商工会議所 |

5 会勢拡充及び広報活動

| 期 日 | 事 業 等 | 場 所 |
|----------|---------|---------|
| 通 年 | 水交会啓蒙活動 | 適宜 |
| 7.8、2.22 | 中級管理講習 | 第2術科学学校 |

令和4年度収支決算報告

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

(単位：円)

| 区 分 | 令和4年度収支予算 | 令和4年度収支決算 | 備 考 |
|---------|-----------|-----------|---------------|
| 【収 入】 | | | |
| 本部助成金 | 768,000 | 743,800 | (寄付金収入内訳) |
| 寄付金収入 | 200,000 | 303,625 | 総 会 133,930 |
| 広告料収入 | 10,000 | 0 | かとり三浦会 20,000 |
| 前期繰越 | 297,339 | 297,339 | 部隊研修 116,178 |
| 利息等 | 0 | 2 | 幹事会等 33,517 |
| 収 入 合 計 | 1,275,339 | 1,344,766 | |
| 【支 出】 | | | |
| (事業費) | 1,016,000 | 863,524 | |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | |
| 通信運搬費 | 350,000 | 451,976 | |
| 消耗品費 | 50,000 | 39,318 | |
| 印刷製本費 | 250,000 | 175,480 | |
| 慰霊援護費 | 46,000 | 40,000 | |
| 諸 謝 金 | 0 | 0 | |
| 海自支援費 | 60,000 | 1,378 | |
| 友好団体交流費 | 200,000 | 135,372 | |
| 会運営費 | 60,000 | 20,000 | |
| (管理費) | 150,000 | 134,952 | |
| 会 議 費 | 20,000 | 25,550 | |
| 旅費交通費 | 100,000 | 95,000 | |
| 慶 弔 費 | 30,000 | 14,402 | |
| (予 備 費) | 109,339 | 0 | |
| 支 出 合 計 | 1,275,339 | 998,476 | |
| 次 期 繰 越 | | 346,290 | |
| 合 計 | 1,275,339 | 1,344,766 | |

監 査 報 告

監査の結果、正常に処理されており、異常のないことを確認いたしました。
令和5年4月1日

監査署名

柳井 誠也

監査署名

道家 一成

令和5年度役員等名簿

| 役 職 | | 氏 名 | 備考 | 役 職 | 氏 名 | 備考 |
|------|----------|---------|----|-----|---------|----|
| 顧 問 | | 松 崎 充 宏 | / | 幹 事 | 荒 川 堯 一 | |
| 顧 問 | | 海 野 幹 郎 | / | 幹 事 | 安 齋 勉 | |
| 顧 問 | | 佃 剛 | / | 幹 事 | 池 田 徳 重 | ※ |
| 顧 問 | | 長 崎 嘉 徳 | / | 幹 事 | 石 山 三 平 | |
| 顧 問 | | 土 井 克 彦 | / | 幹 事 | 井 上 力 | ※ |
| 顧 問 | | 中 尾 誠 三 | / | 幹 事 | 井 上 保 勝 | |
| 顧 問 | | 加 藤 保 | / | 幹 事 | 大 竹 誠 二 | |
| 監査幹事 | | 道 家 一 成 | | 幹 事 | 大 津 雅 紀 | |
| 監査幹事 | | 大久保 文 男 | ※ | 幹 事 | 岡 枝渡子 | |
| 幹 事 | 会 長 | 永 田 美喜夫 | | 幹 事 | 上原子 克 則 | |
| 幹 事 | 副 会 長 | 本 多 一 雄 | | 幹 事 | 木 下 富貴美 | |
| 幹 事 | 副 会 長 | 服 部 雅 光 | | 幹 事 | 小 柳 千恵子 | ※ |
| 幹 事 | 副 会 長 | 高 橋 進 | | 幹 事 | 佐々木 俊 也 | |
| 幹 事 | 事務局長 | 一 瀬 良 文 | | 幹 事 | 佐 野 恭 子 | |
| 幹 事 | 幹 事 長 | 松 下 泰 士 | | 幹 事 | 清 水 利 広 | |
| 幹 事 | 常 務 総務総括 | 松 本 幸一郎 | | 幹 事 | 篠 原 研 司 | ※ |
| 幹 事 | 常 務 総 務 | 在 原 政 夫 | ○ | 幹 事 | 清 水 基 晴 | |
| 幹 事 | 常 務 総 務 | 内 嶋 修 | | 幹 事 | 白 川 久美一 | |
| 幹 事 | 常 務 総 務 | 大 川 努 | ※ | 幹 事 | 高 橋 陽 一 | |
| 幹 事 | 常 務 総 務 | 高 野 幸 美 | | 幹 事 | 道 満 誠 一 | ※ |
| 幹 事 | 常 務 総 務 | 中 西 正 人 | | 幹 事 | 徳 丸 伸 一 | ※ |
| 幹 事 | 常 務 企画総括 | 眞 鍋 浩 司 | | 幹 事 | 鳥 居 真 紀 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 大 野 慶 二 | | 幹 事 | 中 塚 久 雄 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 高 橋 正 美 | | 幹 事 | 中 西 啓 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 乳 井 三 治 | | 幹 事 | 新 倉 成 是 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 藤 原 美知也 | | 幹 事 | 野 口 均 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 星 野 正 彦 | ※ | 幹 事 | 初 谷 龍 夫 | |
| 幹 事 | 常 務 企 画 | 宮 路 貴 幸 | ※ | 幹 事 | 濱 田 暢 喜 | |
| 幹 事 | 常 務 親 睦 | 迫 幸一郎 | | 幹 事 | 坂 東 勝 昭 | |
| 幹 事 | 常 務 会 員 | 桂 眞 彦 | | 幹 事 | 廣 江 清 | |
| 幹 事 | 常 務 会 勢 | 吉 岡 俊 一 | | 幹 事 | 道 脇 信 之 | |
| 幹 事 | 常 務 広報総括 | 石 井 順 | | 幹 事 | 宮 崎 道 夫 | |
| 幹 事 | 常 務 広 報 | 宅 間 秀 記 | ○ | 幹 事 | 柳 井 誠 也 | ※ |
| 幹 事 | 常 務 広 報 | 檜 森 晃 治 | | 幹 事 | 吉 川 榮 治 | |
| 幹 事 | 常 務 広 報 | 山 岡 鉄 司 | ※ | 幹 事 | 吉 田 かをり | |
| 幹 事 | 常 務 会 計 | 日 向 ゆみ子 | | | | |

備考欄 ○：再任、 ※：新任又は担当の変更、空欄：任期内

令和5年度活動計画

自：令和5年4月 1日

至：令和6年3月31日

水交会本部の「令和5年度事業計画」に基づき、横須賀水交会の令和5年度活動計画を以下のとおりとする。

1 方針

次を重点に地域特性を活かした活動を行う。

- (1) 海洋安全保障思想の普及
- (2) 横須賀所在の海上自衛隊等の施策・活動に対する協力支援
- (3) 海上防衛活動等における戦没者・殉職者の慰霊顕彰及び遺族等の援護
- (4) 地域社会活動への寄与
- (5) 会勢拡充及び広報活動の充実
- (6) 会員相互の親睦・啓発

2 活動等

| 区 分 | 内 容 | 時 期 | 記 事 |
|----------------|------------------------|-------|---------|
| 1 海洋安全保障思想の普及 | 1-1 横須賀夏季防衛講座 | 8月 | |
| | 1-2 新聞発行 | 4、11月 | |
| | 1-3 防衛関係諸団体との交流 | 通年 | |
| | 1-4 横須賀水交会防衛講座 | 通年 | |
| 2 海上自衛隊への協力・支援 | 2-1 遠洋練習航海部隊の激励 | 5月 | 指揮官等激励会 |
| | 2-2 海外派遣部隊の激励 | 通年 | |
| | 2-3 横須賀教育隊入隊・修業式 | 通年 | |
| | 2-4 横須賀教育隊練習員等成績優秀者の激励 | 通年 | |
| | 2-5 体育競技等の支援・激励 | 通年 | |
| | 2-6 自衛艦旗授与・返納行事等 | 通年 | |
| | 2-7 部隊記念行事 | 通年 | |
| | 2-8 部隊研修 | 10月 | |
| | 2-9 募集業務に対する支援 | 通年 | |
| | 2-10 退職隊員の再就職への情報提供 | 通年 | |
| | 2-11 防衛大学校留学生の激励 | 6月 | |
| | 2-12 災害派遣部隊の激励 | 通年 | |
| | 2-13 隊員留守家族の支援 | 通年 | |
| | 2-14 地方隊実施行事の支援 | 通年 | |

| | | | |
|--------------|-----------------------|------------|--------------------------------------|
| 3 慰霊顕彰等 | 3-1 浜空鎮魂の碑慰霊祭 | 4月 | |
| | 3-2 馬門山海軍墓地墓前祭 | 5月 | |
| | 3-3 「海軍の碑」記念行事 | 5月 | |
| | 3-4 英霊にこたえる会 | 8月 | |
| | 3-5 横須賀地区殉職隊員追悼式 | 10月 | |
| | 3-6 靖国神社等参拝 | 6月、2月 | |
| 4 地域社会活動への寄与 | 4-1 日本海海戦記念行事 | 5月 | |
| | 4-2 洋上懇談会 | 10月 | |
| | 4-3 賀詞交歓会 | 1月 | |
| | 4-4 地方自治体主催行事への参加 | 通年 | |
| | 4-5 諸団体との交流 | 通年 | |
| 5 会勢拡充及び広報活動 | 5-1 水交会啓蒙活動及び入会促進 | 通年 | |
| | 5-2 中級管理講習及び横須賀教育隊説明会 | 通年 | |
| | 5-3 ホームページの維持・管理 | 通年 | |
| | 5-4 水交誌等への投稿 | 通年 | |
| 6 会員相互の親睦・啓発 | 6-1 ゴルフ大会 | 6月、11月 | |
| | 6-2 同好会活動 | 通年 | |
| | 6-3 レクリエーション活動 | 通年 | |
| | 6-4 退職隊員再々就職の情報提供等支援 | 通年 | |
| | 6-5 有志会員の部隊研修 | 適時 | |
| | 6-6 クリスマスパティー | 12月 | |
| 7 管理業務等 | 7-1 定期総会 | 6月 | |
| | 7-2 幹事会 | 1回／ 四半期 | 1/四半期を除く。 |
| | 7-3 常務幹事会 | 1回／ 2ヶ月 | |
| | 7-4 支部長会議 | 6月 | 本部計画 |
| | 7-5 事務局運営 | 通年 | ・慶弔処理 ・諸機関調整 ・書類・物品管理 ・会計処理 |

3 令和5年度収支予算
別表第2のとおり。

令和5年度収支予算

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

(単位：円)

| 区 分 | 令和4年度収支予算 | 令和5年度収支予算 | 備 考 |
|--------------|-----------|-----------|-----------------|
| 【収 入】 | | | 支出予算科目の説明 |
| 本部助成金 | 768,000 | 759,000 | [旅費交通費] |
| 寄付金収入 | 200,000 | 300,000 | 事業費：支部関連交通費 |
| 広告料収入 | 10,000 | 10,000 | 管理費：事務局員交通費 |
| 前期繰越 | 297,339 | 346,290 | [通信運搬費] |
| 利息等 | | | 行事案内、新聞郵送料、切手、 |
| 収入合計 | 1,275,339 | 1,415,290 | 葉書等 |
| 【支 出】 | | | [消耗品費] |
| (事業費) | 1,016,000 | 95,000 | 事務用品、用紙等 |
| 旅費交通費 | 0 | 0 | [印刷製本費] |
| 通信運搬費 | 350,000 | 350,000 | 新聞、行事案内等 |
| 消耗品費 | 50,000 | 50,000 | [慰霊援護費] |
| 印刷製本費 | 250,000 | 180,000 | 馬門山海軍墓地墓前祭等 |
| 慰霊援護費 | 46,000 | 50,000 | [海自支援費] |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 教育隊、練艦隊、派遣部隊等激励 |
| 海自支援費 | 60,000 | 60,000 | [友好団体交流費] |
| 友好団体交流費 | 200,000 | 200,000 | 防衛諸団体との交流 |
| 会運営費 | 60,000 | 60,000 | [会運営費] |
| (管理費) | 150,000 | 140,000 | 同好会支援等 |
| 会議費 | 20,000 | 20,000 | [会議費] |
| 旅費交通費 | 100,000 | 90,000 | 幹事会等会場使用料、御茶代等 |
| 慶弔費 | 30,000 | 30,000 | |
| (予備費) | 109,339 | 325,290 | |
| 支出合計 | 1,275,339 | 1,415,290 | |